

令和5年9月 斐伊川水系水質情報

令和5年9月(宍道湖15日・中海11日採水)								単位:mg/l(Chl-a: μ g/l)		
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
COD	全層	4.9	△	平年並み	3.9	△	平年並み	5.1	△	平年並み
全窒素	上層	0.50	△	平年並み	0.45	△	平年並み	0.54	△	平年並み
全リン	上層	0.115	★	非常に高い	0.063	★	かなり高い	0.063	△	平年並み
Chl-a	上層	26	△	平年並み	12	△	平年並み	13	△	平年並み
塩化物イオン	上層	1,940	△	平年並み	9,750	△	平年並み	9,650	△	平年並み
	下層	2,770	△	平年並み	17,900	×	やや高い	13,800	△	平年並み
溶存酸素	上層	9.3		平年並み	11.1		平年並み	11.3		平年並み
	下層	5.2		やや低い	3.0		平年並み	2.3		平年並み

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	4.3	やや上昇	3.5	やや上昇	4.8	横ばい
全窒素	上層	0.33	上昇	0.40	やや上昇	0.40	やや上昇
全リン	上層	0.027	上昇	0.039	上昇	0.049	やや上昇

宍道湖の透明度は1.6mから1.5mと横ばいで、平年並み。中海の透明度は2.5mから2.0mとやや下降し、平年並み。米子湾の透明度は2.3mから1.8mとやや下降し、平年並みになっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

	↑	★	<非常に高い>
平均値＋標準偏差値の3倍	↑	☆	<かなり高い>
平均値＋標準偏差値の2倍	↑	×	<やや高い>
平均値＋標準偏差値 10年間平均値 平均値－標準偏差値	↑	△	<平年並み> ただし、環境基準値以下の場合<良好>とする。
平均値－標準偏差値の2倍	↓	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。 <やや低い> (塩化物イオン)
平均値－標準偏差値の3倍	↓	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

注) 平均値±標準偏差値 …… 全体のおよそ 68.2%

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化… やや上昇、やや下降、横ばい

平均値±標準偏差値の2倍… 全体のおよそ 95.5%

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化… 横ばい

平均値±標準偏差値の3倍… 全体のおよそ 99.7%